



がでそうでした。  
給食サービスは、ただ弁当を配達するだけでなく、配食ボランティアの人が配達のついでにお年寄りの話し相手になったり悩みごとの相談にのったり、コミュニケーションを通して福祉ニーズをさぐり、老人福祉事業に反映させていく目的もあります。また、市社協では、子供のうちからボランティアに対する意識に目覚めてもらうということから、保育園で昼食会を開いてお年寄りや園児のふれあいの場を設けたり、中学生・高校生に弁当づくり、配達、訪問へ参加してもらったりする計画もしています。

### 地域ネットワークの強化目指して

市社協では、地域との密接な連携を取りながら、これからはほとんどボランティアの担い手の育成と今回の給食サービスののような地域住

民参加型のボランティア活動を通して、福祉に対する住民の意識の高揚と地域におけるネットワーク作りの強化を図っていくことにしています。

### ボランティア協力員・弁当希望者募集中

給食サービスの対象は、今のところ長木地区に住んでいる六十五歳以上の独り暮らし老人と老人世帯、六十歳以上の身障老人ですが、市社協ではこの事業が軌道に乗り次第、ほかの地区へも広げていく方針です。今回スタートした長木地区では、ボランティア協力員がまだまだ不足で充実したサービスを展開することができないため、給食サービスを希望しながら待機している人が十七人もいます。市社協ではボランティア協力員の増員を図りながら給食サービス回数を増やしたいと考えて、長木地区のボランティア協力員を募集していますので、やってみたいと思う人は市社協へどしどしお申し込みください。

また、給食サービスを希望する人は、市社協にある「申出書」・「決定通知書」・「誓約書」に必要事項を記入し、民生委員の意見書を添えて申し込んでください。

給食サービスについての申し込み、問い合わせ先 大館市社会福祉協議会（総合福祉センター内）  
☎42-8101

（配食ボランティア）

大迫 フミエさん



弁当を届けて分かったんですが、お年寄りは話し相手を欲しがっているんですね。足が痛くて玄関まで出てこれない人には、一声かけて家があがって届けます。弁当もそうですが、私を持っていてくれるよううれしくなりますね。

（調理ボランティア）

三浦 光子さん



このボランティアを始めたきっかけは、いつか私もボランティアの世話になるかもしれないし、元気なうちに何か人の役に立ちたかったからです。とつてもいいことだし、自分の勉強のためにもなりますよ。